

房総人物語

3

2005年春、市原市喜多のクリが咲き誇る姿に感動し、自
ら山で偶然見つけた数輪のカタクリを採取し、生
地復元に向け仲間とともに活



市原市喜多の里山で、さまざまな植物の生育を妨げる雑草を
取り除く「除草刈り」を行っている。中山さんは「地面には
いつかは、お世辞にも格好良い作業とはいえないが、カタ
クリが年々増えている」と大きなやりがいを感ずる」と活
動の原動力を明かす

動を始めた。今ではカタクリだ
けでなく、さまざまな希少な植
物が息づくまでになった里山。

カタクリの自生地復元 観察会で希少な植物紹介

その魅力を探った。

—現在の活動状況は。

×

×

「月3回の手入れ作業のほか、春はカタクリ、夏はツツシノクサ、秋はサマシノクサとできる里山の良さを多くの人に感じてもらいたい」
—里山の貴重な自然を守るために、私たちにできることは、
「若い世代をはじめ、多くの人の協力が欠かせないと考えていた。今後の課題は、
現在の正会員34人は高齢者ばかりで、人材集めが課題。喜きかけとして、観察会に足を
多地区の自然を地域で守る活動を知ってもらっただけでなく、今後は参加してもらえよう」とし
なければならぬ」

—この里山の魅力とは。

ツツシノクサが楽しめるが、オレシシ色の花を咲かせるキ
「8年もの期間を経て咲くカ
タクリが群生している様子は庄
2)7487。
い合わせは同会0436(5
観察会は、18日に開かれる。問
中山美代子さん(66)



風呂の前里山保存会の代表を務める
中山美代子さん

風呂の前里山保存会 市原市 中山美代子さん(66)